

# 2016年3月期 決算説明資料

株式会社UBIC

代表取締役社長

守本 正宏

2016.5.16

Kibi+

## 2016年3月期 決算説明資料

1. 2016年3月期連結業績概要
2. 第4四半期 事業アップデート
3. 新規事業/製品アップデート
4. 今後の事業戦略
5. 質疑応答

※本資料内では、以下の定義に基づいて記載しております。

FY2015：2016年3月期 FY2016：2017年3月期

Q1：4~6月期 Q2：7~9月期 Q3：10~12月期 Q4：1~3月期

# 2016年3月期連結業績概要

---

# 2016年3月期連結損益計算書

(単位:百万円)	2015年3月期		2016年3月期				前年比 増減	2016年3月期 修正通期予想		
	Q4	年度合計	Q1	Q2	Q3	Q4			年度合計	
売上高	1,824	6,274	1,726	2,694	3,178	3,059	10,659	4,384	10,500	
売上原価	953	3,143	1,035	1,391	1,672	1,730	5,830	2,687		
売上総利益	871	3,131	691	1,302	1,506	1,329	4,829	1,697		
売上比率	48%	50%	40%	48%	47%	43%	45%	-4%		
販売費及び一般管理費	829	2,865	714	1,258	1,393	1,281	4,648	1,783		
営業利益	42	266	-22	43	112	47	180	-85		240
売上比率	2%	4%	-1%	2%	4%	2%	2%	-2%		2%
営業外収益(-)・費用(+)(Net)	0	-167	-45	45	-5	63	57	225		
経常利益	42	434	22	-1	118	-15	123	-310		230
売上比率	2%	7%	1%	0%	4%	0%	1%	-5%		2%
特別利益(-)・損失(+)	0	0	0	0	0	26	26	26		
法人税等合計	22	172	40	118	77	-25	211	39		
少数株主利益	1	1	0	2	1	1	5	4		
当期純利益	18	260	-18	-123	39	-18	-121	-381	-50	
売上比率	1%	4%	-1%	-5%	1%	-1%	-1%	-5%	0%	

- 売上：Q4に予定していた高利益率のプロジェクトが次期にずれたものの、EvD, Inc.を買収した効果に加え、NYレビューセンター本格稼働によるレビュー売上の増加も増収に貢献した
- 原価：人工知能KIBITを使った新規事業開発費とレビューにかかる変動費により増加
- 販管費：買収関連費用255百万円、顧客関連資産及びのれんの償却費用180百万円、新規事業関連費用432百万円等により増加
- 利益：原価・販管費の増加に加え、急激な円の高騰による為替インパクトの影響もあり、当期は121百万円の純損失となった

(日本基準)

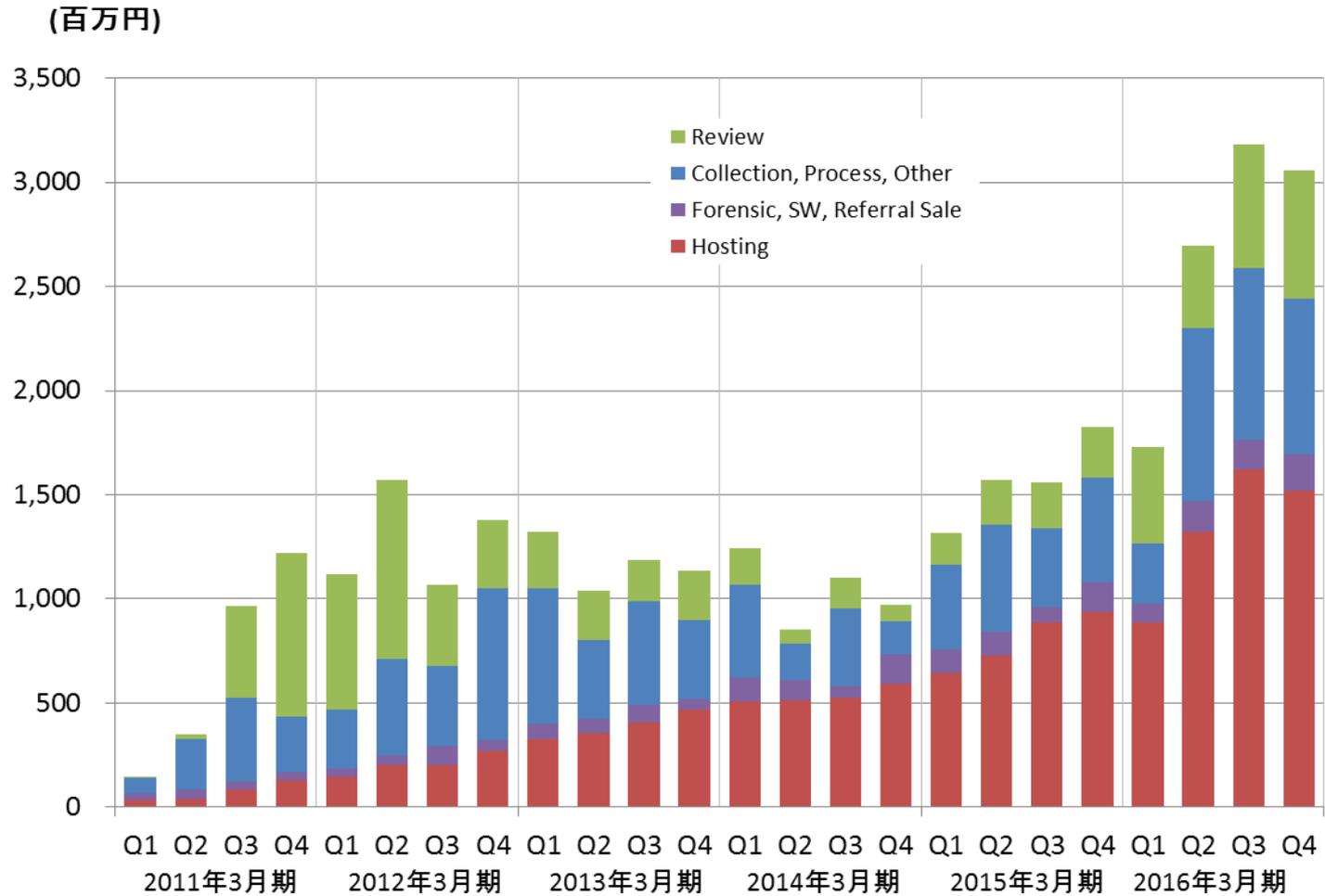
# 2016年3月期連結貸借対照表

(単位:百万円)	2015年3月期				2016年3月期				2015年3月比	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	増減	
<b>資産の部</b>										
現預金	1,237	1,903	2,095	2,726	2,527	2,353	2,254	1,798	-927	-34%
売掛金	1,216	1,386	1,318	1,569	1,471	2,914	3,004	2,983	1,413	90%
その他流動資産	400	463	439	327	427	645	735	749	422	129%
流動比率	326%	342%	306%	319%	295%	95%	163%	161%	-157%	
有形固定資産	716	748	788	783	807	906	1,122	1,110	326	42%
ソフトウェア	857	839	847	871	876	882	842	878	7	1%
のれん、顧客関連資産		498	543	541	541	3,953	4,522	4,157	3,615	
その他固定資産	591	823	803	822	1,050	1,190	1,148	1,322	499	61%
固定比率	64%	60%	61%	60%	65%	145%	160%	167%	99%	
<b>資産合計</b>	<b>5,020</b>	<b>6,662</b>	<b>6,837</b>	<b>7,641</b>	<b>7,703</b>	<b>12,846</b>	<b>13,630</b>	<b>12,999</b>	<b>5,357</b>	<b>70%</b>
<b>負債・純資産の部</b>										
流動負債	876	1,098	1,259	1,447	1,502	6,195	3,686	3,439	1,991	138%
固定負債	514	493	422	973	935	1,635	4,927	4,776	3,803	391%
純資産	3,629	5,070	5,155	5,220	5,265	5,015	5,016	4,782	-438	-8%
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,020</b>	<b>6,662</b>	<b>6,837</b>	<b>7,641</b>	<b>7,703</b>	<b>12,846</b>	<b>13,630</b>	<b>12,999</b>	<b>5,357</b>	<b>70%</b>

- 流動資産：EVD買収による売掛金の増加
- 固定資産：EVDの顧客関連資産及びのれんの計上による増加
- 流動負債：未払費用、未払金及び1年内返済予定長期借入金の増加
- 固定負債：EVD買収のための長期借入金、繰延税金負債の増加
- 為替の影響：当第4四半期の円の急騰から、のれん・顧客関連資産が減少

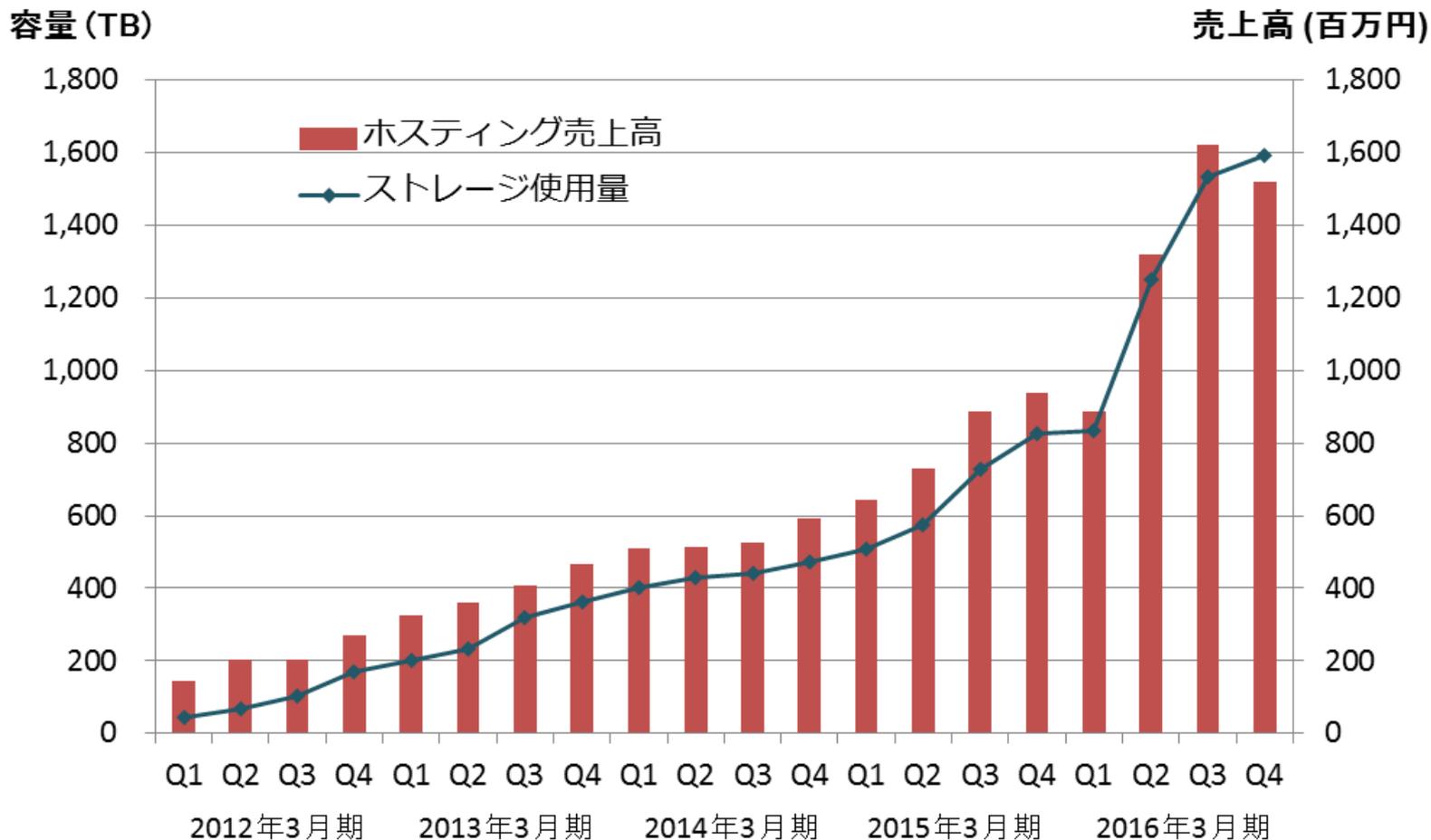
(日本基準)

# 連結売上 / サービスタイプ別



(日本基準)

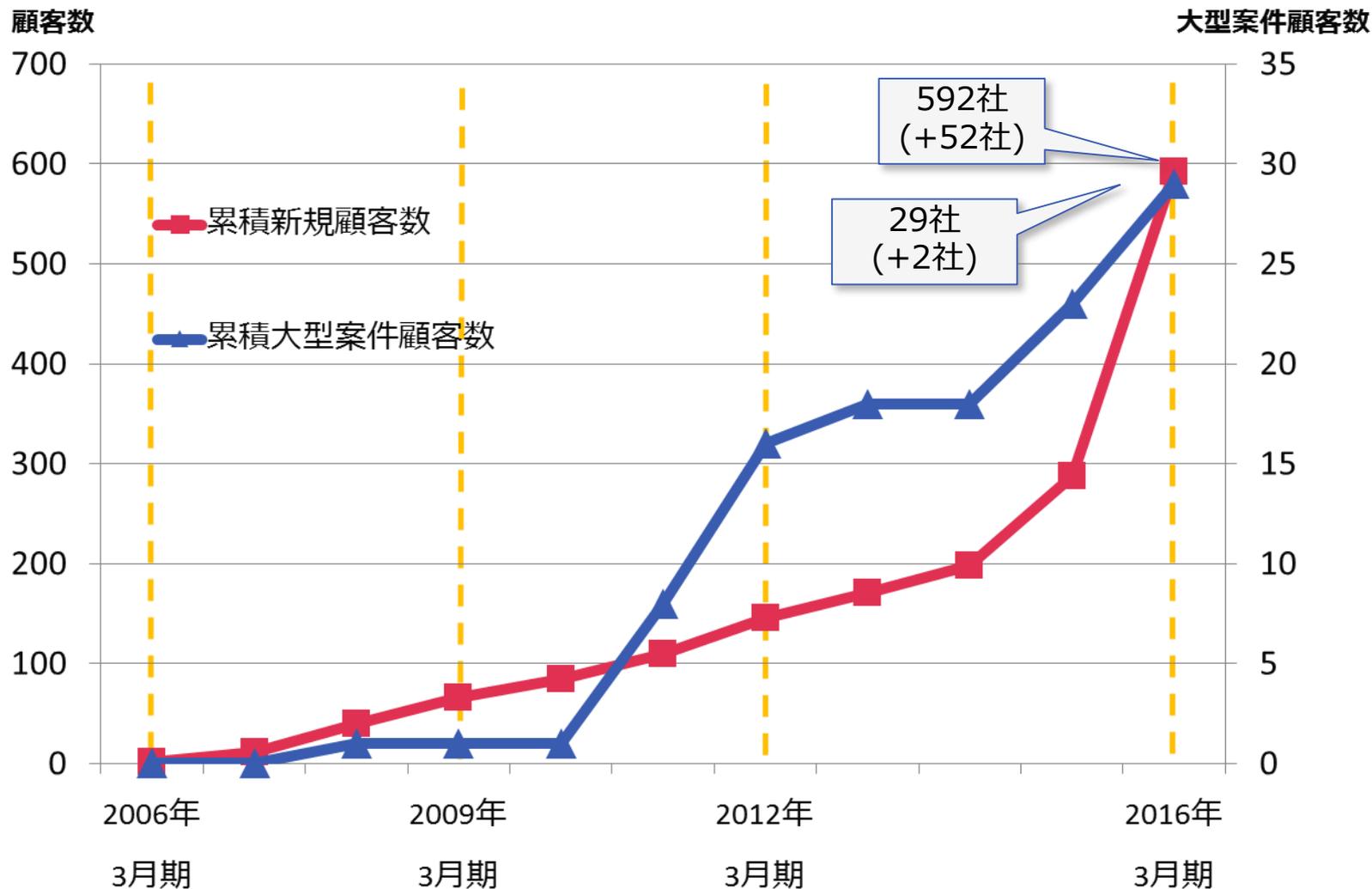
# インテリジェンスクラウドのストレージ使用量 / ホスティング売上高



(日本基準)

# 新規顧客・大型案件顧客の推移

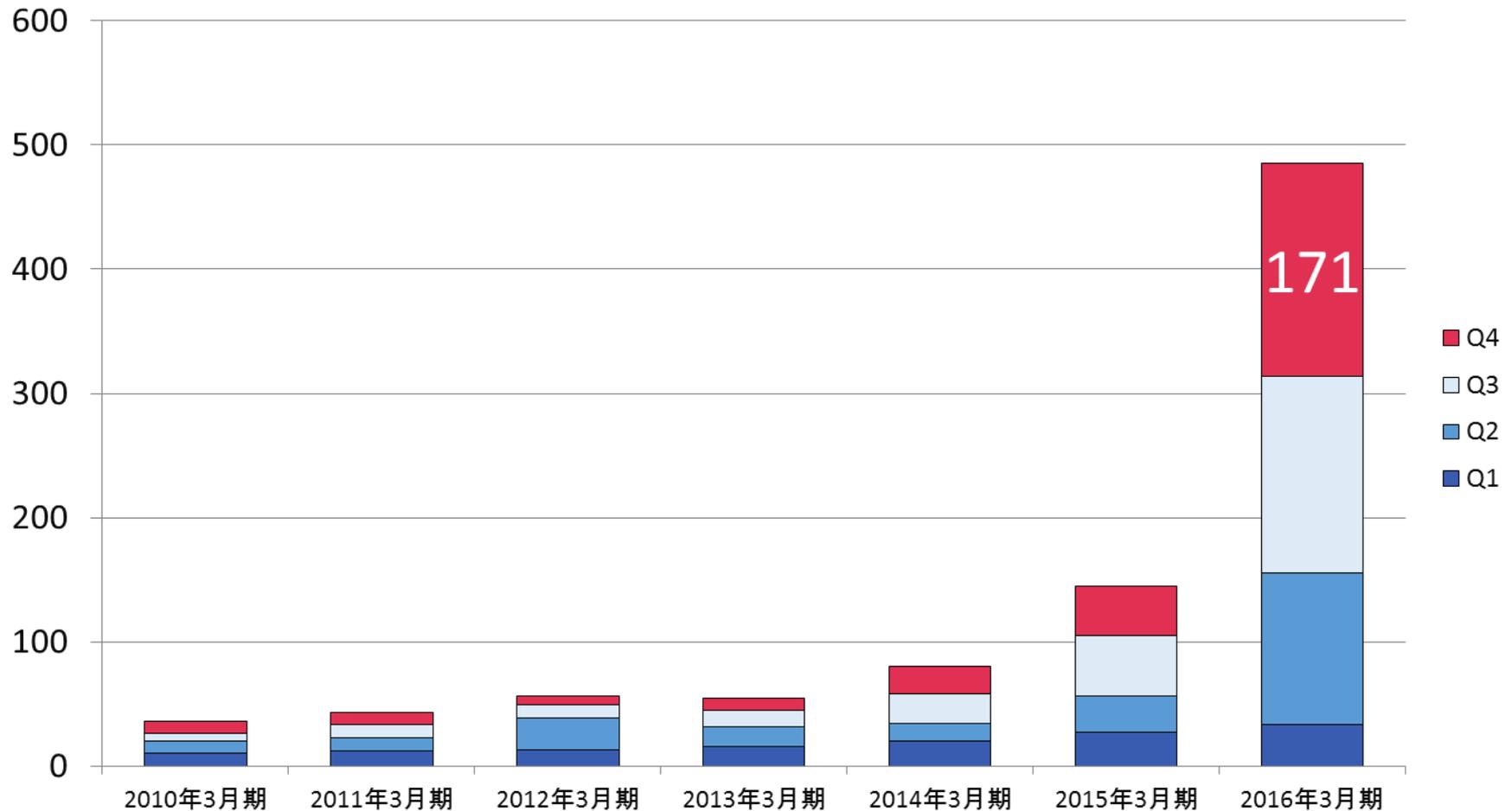
- Q4では新たに52社を獲得
- 新規大型案件顧客2社（アジア顧客）を獲得



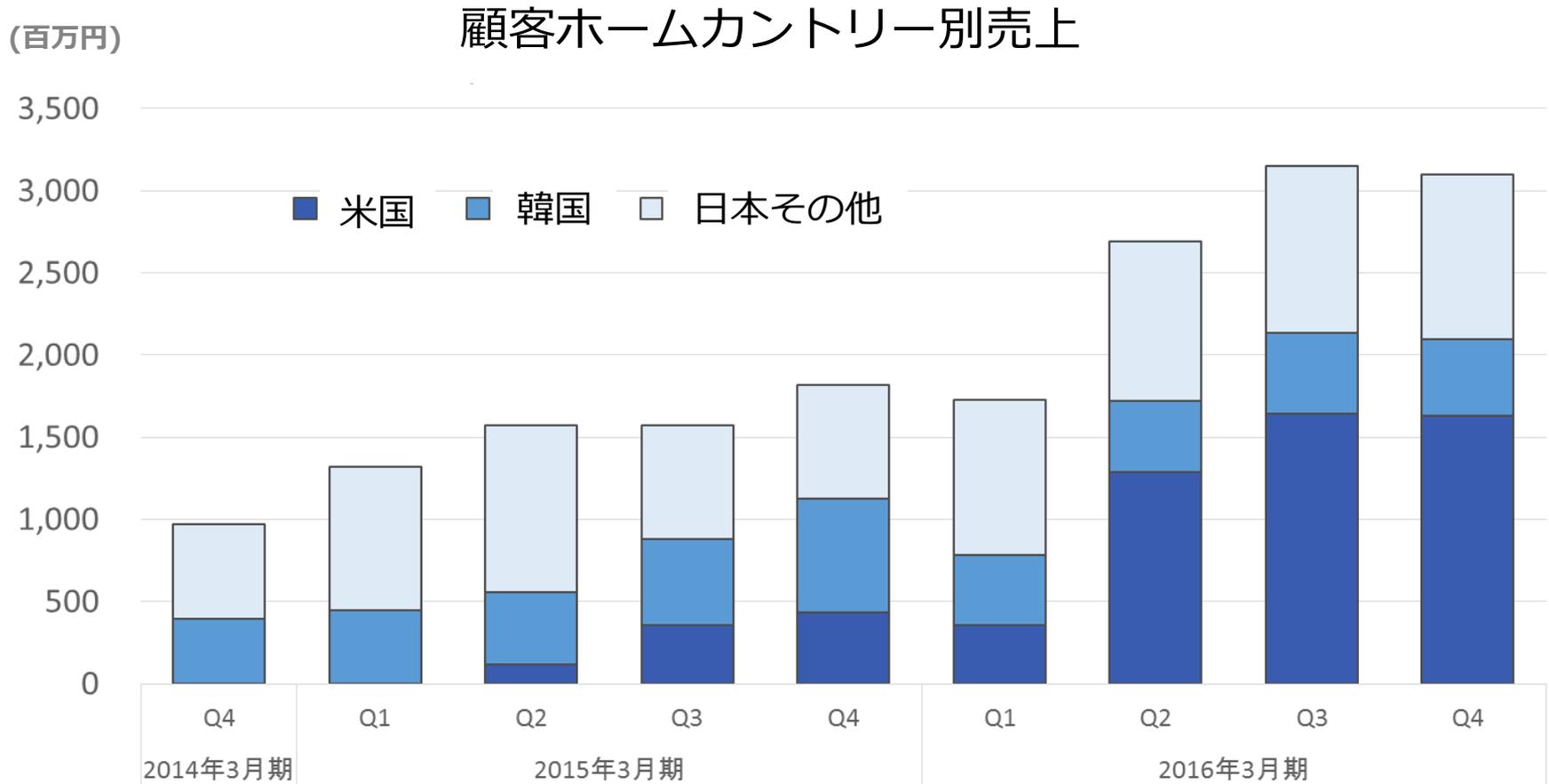
# ディスカバリ受注件数推移

- 2016年3月期Q4において171件を受注
- Q4受注案件の内141件がEvD案件

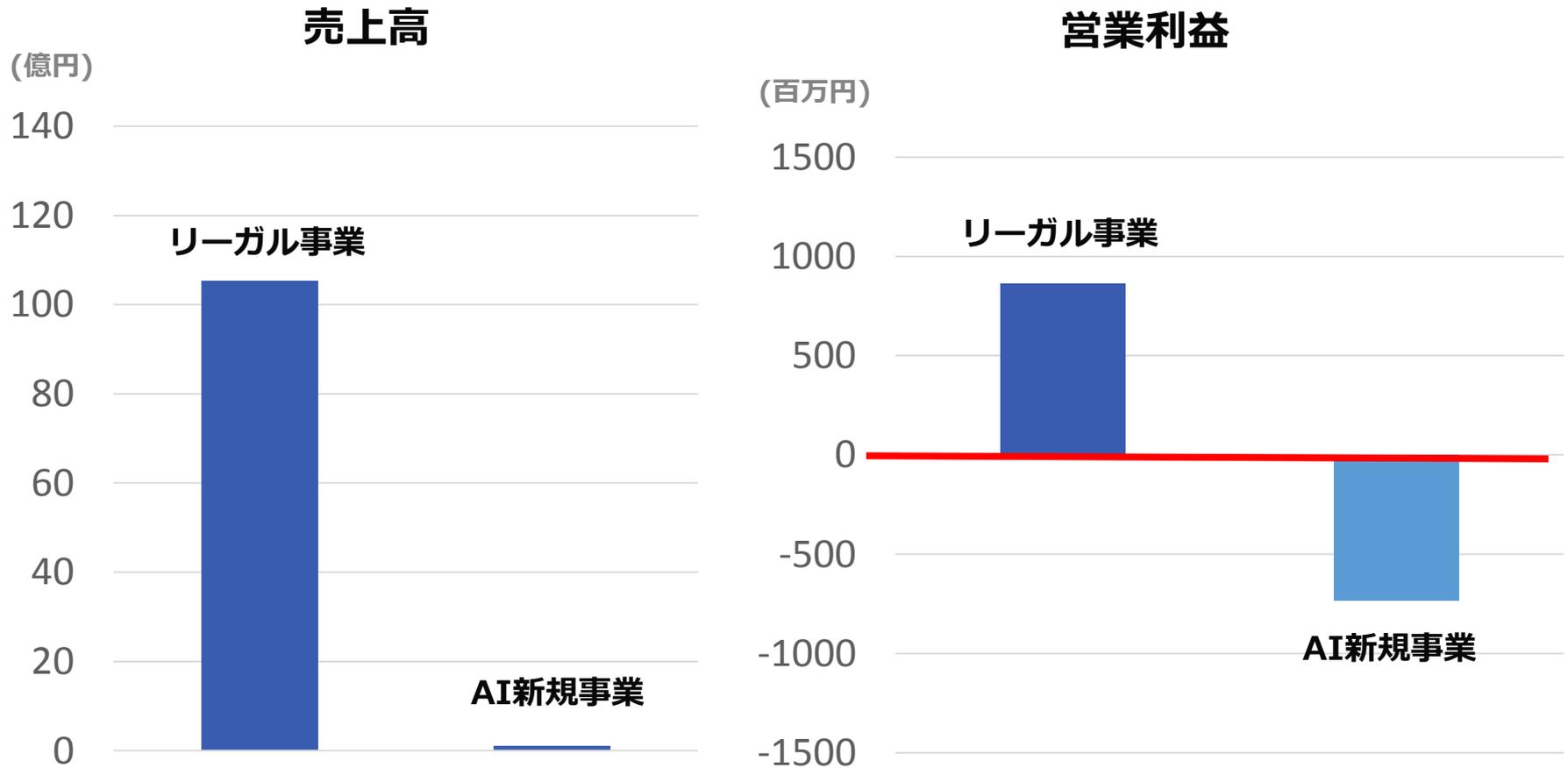
受注件数



# 米国・韓国セクションからの売上



# 2016年3月期リーガル事業・AI新規事業の売上比較



**リーガルビジネス：** M&Aの効果もあり大幅売上増。

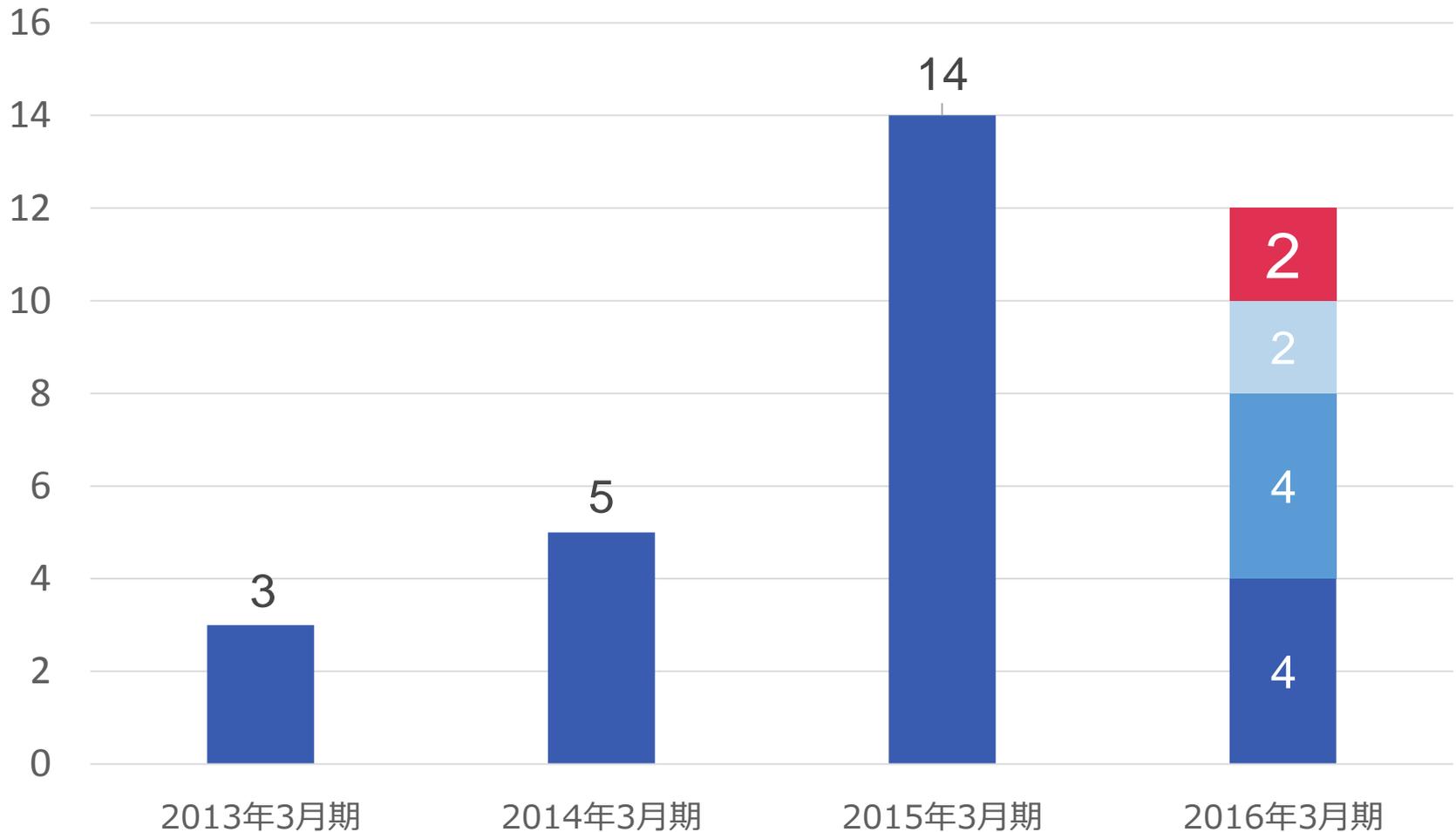
**AI新規事業：** AI新規事業体制構築を開始。投資先行モード。

# 第4四半期 事業アップデート

---

# Predictive Coding年間実績件数

2016年3月期において、アジア案件12件の実績



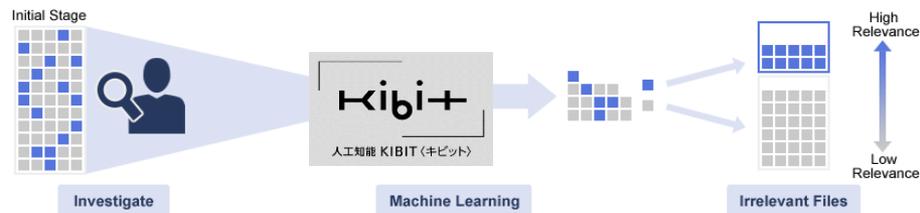
# 特許出願・取得実績

- 2016年5月1日時点で**52件**の特許が登録された
- 人工知能関連技術に関する米国特許を新たに取得

( )内は2016年2月1日からの増減分

	日本	PCT	米国	韓国	EU	中国	台湾	合計
出願中	17 (-10)	42 (-3)	24 (+1)	4 (+1)	9 (+4)	3 (-1)	4 (-1)	<b>103</b> <b>(-9)</b>
登録済	41 (+6)	-	5 (±0)	2 (±0)	0 (±0)	2 (+1)	2 (+2)	<b>52</b> <b>(+9)</b>

2016年5月1日現在



Predictive Coding

# 新規事業/製品アップデート

---

# KIBITを用いた事業展開

3つの事業分野を柱として、AIを活用した情報解析事業の世界ナンバー1企業を目指す

	デジタル マーケティング	ヘルスケア	ビジネス インテリジェンス
パートナー			
			

人間の経験や感覚を学習することが出来る当社独自の人工知能技術

# Lit i View EMAIL AUDITOR営業状況

## EMAIL AUDITOR 契約状況

(2014/4/1リリース)



**矢崎総業・東洋ゴム・レースバックオフィス**

を始め情報漏洩防止や人材流出防止などを目的として

国内外企業**12社**約**8600ID**インストール済



## EMAIL AUDITOR 営業状況（一部）

国内企業	営業提案	トライアル	契約
A社（製造）	トライアル準備中 →		
B社（製造）	トライアル完了・契約処理中 →		
C社（製造）	トライアル完了・契約交渉中 →		
海外企業	営業提案	トライアル	契約
D社（運輸）	トライアル完了・契約処理中 →		

# Lit i View PATENT EXPLORER営業状況

## PATENT EXPLORER契約状況

(2015/10/29リリース)

**NEC特許技術情報センター**  
**昭和電工・三菱化学テクノリサーチ**

ほか1社にインストール済  
大手製造業ほか複数社でトライアルが進行中

**NEC**  
NEC特許技術情報センター

**SHOWA  
DENKO**

## PATENT EXPLORER営業状況（一部）

国内企業	営業提案	トライアル	契約
A社（製造）	トライアル準備中		
B社（製造）	トライアル提案中		
C社（社団法人）	トライアル完了・契約交渉中		
D社（製造）	トライアル提案中		

## AI 助太刀侍契約状況

(2015/10/1リリース)

**三菱東京UFJ銀行・三菱重工・大手アパレルメーカー**  
 ほか1社に営業支援やVOC分析などを目的として導入済み  
 ITサービス業ほか複数社でトライアルが進行中



三菱東京UFJ銀行 HP内にCTO武田とKibiroが登場

## AI 助太刀侍営業状況（一部）

国内企業	営業提案	トライアル	契約
A社（販売）	→	→	
B社（サービス）	→		
C社（保険）	→	→	
D社（保険）	→		

## 各種製品の提供開始



### Lit i View SNS MONITORING 提供開始 (2016年3月1日)

独自開発の人工知能KIBITを用いたソーシャルメディア分析システム「Lit i View SNS MONITORING」の提供を開始。インターネット上のソーシャルメディアや掲示板など公開されている情報から、重大な犯罪に発展する恐れのある書き込みやコメントなどを監査・検知する。

### ハーツユナイテッドグループとの協業第一弾として ネット書き込み監視サービス「DH-AI」を開始 (2016年6月1日)

ハーツユナイテッドグループのバグ（不具合）を発見するノウハウと、人間の感覚や機微を理解する人工知能KIBITを活かしたサービス第一弾開始を2016年5月16日に発表。

これまでキーワード検索が主流だった、コミュニティサイトやブログ等の監視をハーツユナイテッドグループの知見を学んだ人工知能KIBITが行うことにより、的確かつ容易な書き込みやコメントの抽出が可能になる。



# 人間ドック予約サイト「YOURドック」をオープン

## 人間ドック予約サイト「YOURドック」オープン

(2016年2月25日)



医療データ解析ソリューションを提供するUBIC MEDICALが人間ドック予約サイト「YOURドック」を運営開始。

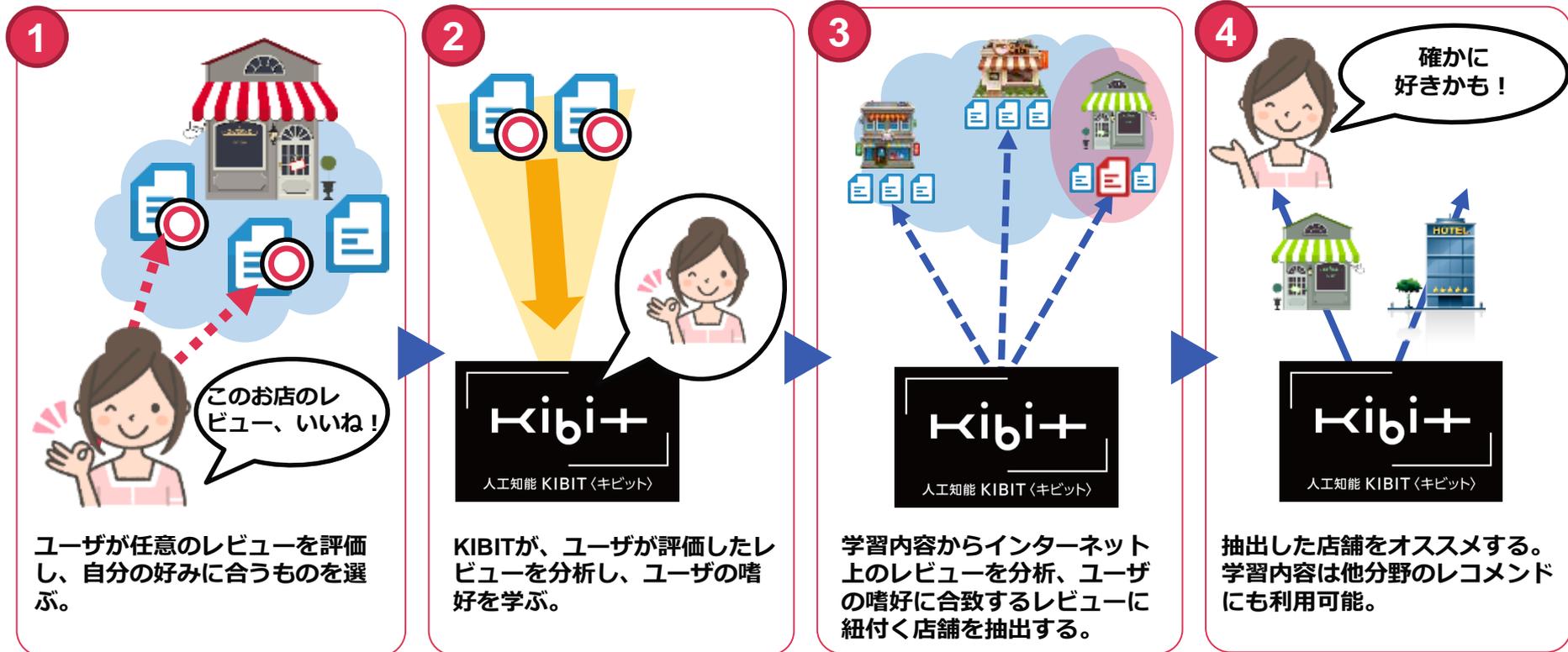
希望する検査コースや検査項目を選択して医療施設やプランを検討することが可能なほか、ビギナー向けガイドも掲載。

2016年度前半には人工知能「KIBIT」を搭載し、ユーザー個人に合った人間ドックプランをおすすめする。

# デジタルキュレーションサービスの提供を開始

デジタルマーケティング事業を展開するRappa株式会社が株式会社電通国際情報サービスと業務提携を行い、人工知能を用いた「デジタルキュレーション」の実装支援サービスの提供を2016年2月16日より開始。インターネット上にある、多数の人がそれぞれ意思を持って書き込んだコメント群を人工知能「KIBIT」が解析することにより、利用者一人ひとりにあったお店や商品を提案する。

ユーザーの属性情報や購買・行動パターンをもとに嗜好を類推する従来の手法と異なり、その人だけのパーソナルなレコメンドを行うことが可能になる。



# LITALICOとUBIC、人工知能を活用した協業を開始 ～自殺の予兆を早期発見する仕組みを構築～

(2016年5月13日)

**LITALICO**  
りたりこ

■ 約7千人の精神障がいのある方の支援に取り組んできた知見

■ 支援記録のテキストデータ

**UBIC**

■ 人間の暗黙知を学ぶ

人工知能KIBIT

■ 10年以上にわたる

ビッグデータ解析のノウハウ

LITALICOの障がい者就労移行支援事業「ウイングル」において精神障がいのある方の自殺の予兆や可能性の高まりを早期に発見する仕組みを構築、人工知能KIBITの導入を開始

# マーケティング・テクノロジーフェア 2016に出展



2月16日・17日の2日間にわたり、  
**マーケティング・テクノロジーフェア2016**  
においてマーケティング分野での初めてのイ  
ベント出展を実施。



季節はずれのビーチバーをテーマとしたブ  
ースには延べ**1000人**以上の来場者が訪れ、ミ  
ニセミナーに耳を傾けた。

また、17日には「顧客の声からまだ知らな  
かった価値を発見する—人工知能のマーケ  
ティング活用事例—」と題し、UBICのCTO  
である武田がセミナー会場にて講演を実施。  
120席ある会場は満席となり、マーケティ  
ング分野での人工知能「KIBIT」を周知した。

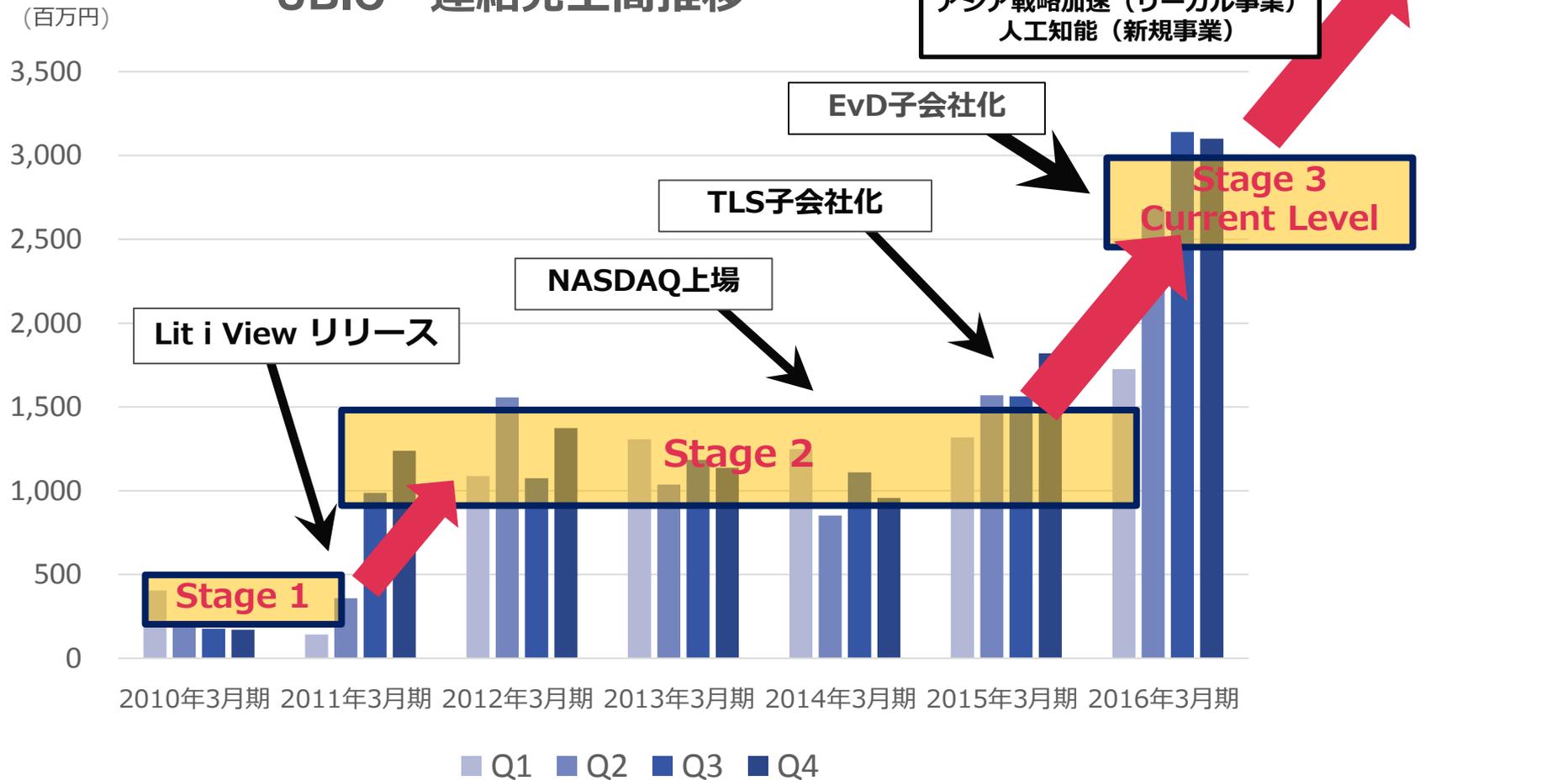


# 今後の事業戦略（全体）

---

# Next Levelへの成長戦略

## UBIC 連結売上高推移



**① 既存事業の拡大**  
-更なる大型案件の獲得-

**② 新規事業の展開**  
-新規事業の収益化-

**事業戦略**

米国3社統合等新体制の確立

既存顧客の満足度向上

アジア戦略の推進

製品開発・リリースの促進

**経営体制  
強化**

事業戦略推進のための人材獲得

広報活動の強化継続

グローバル経営体制の強化

**ヘルスケアを中心に人工知能KIBITを活用した  
事業を展開する企業としての基盤を確立**

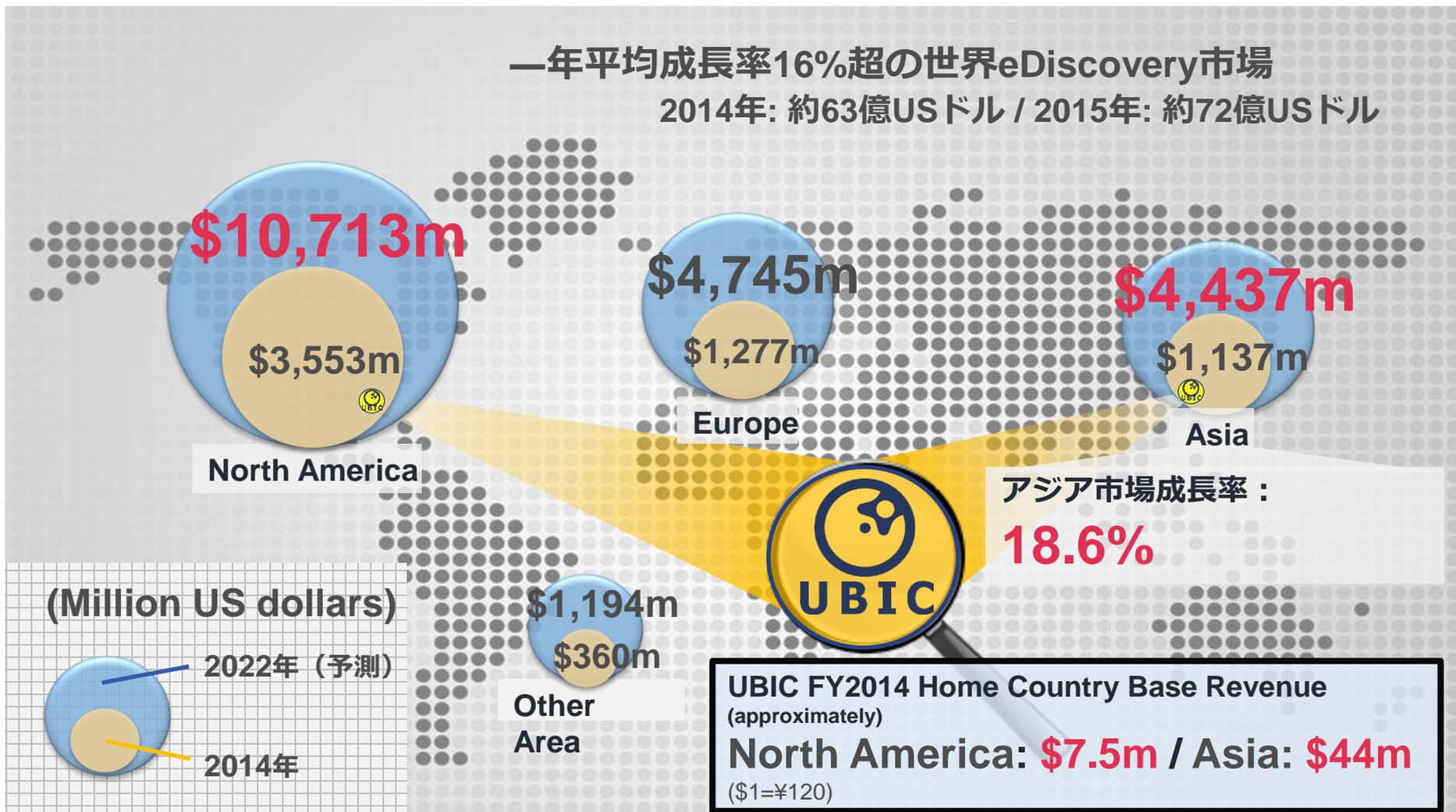
# 今後の事業戦略（リーガル）

---

# eDiscovery市場は2022年に210億ドルに達する

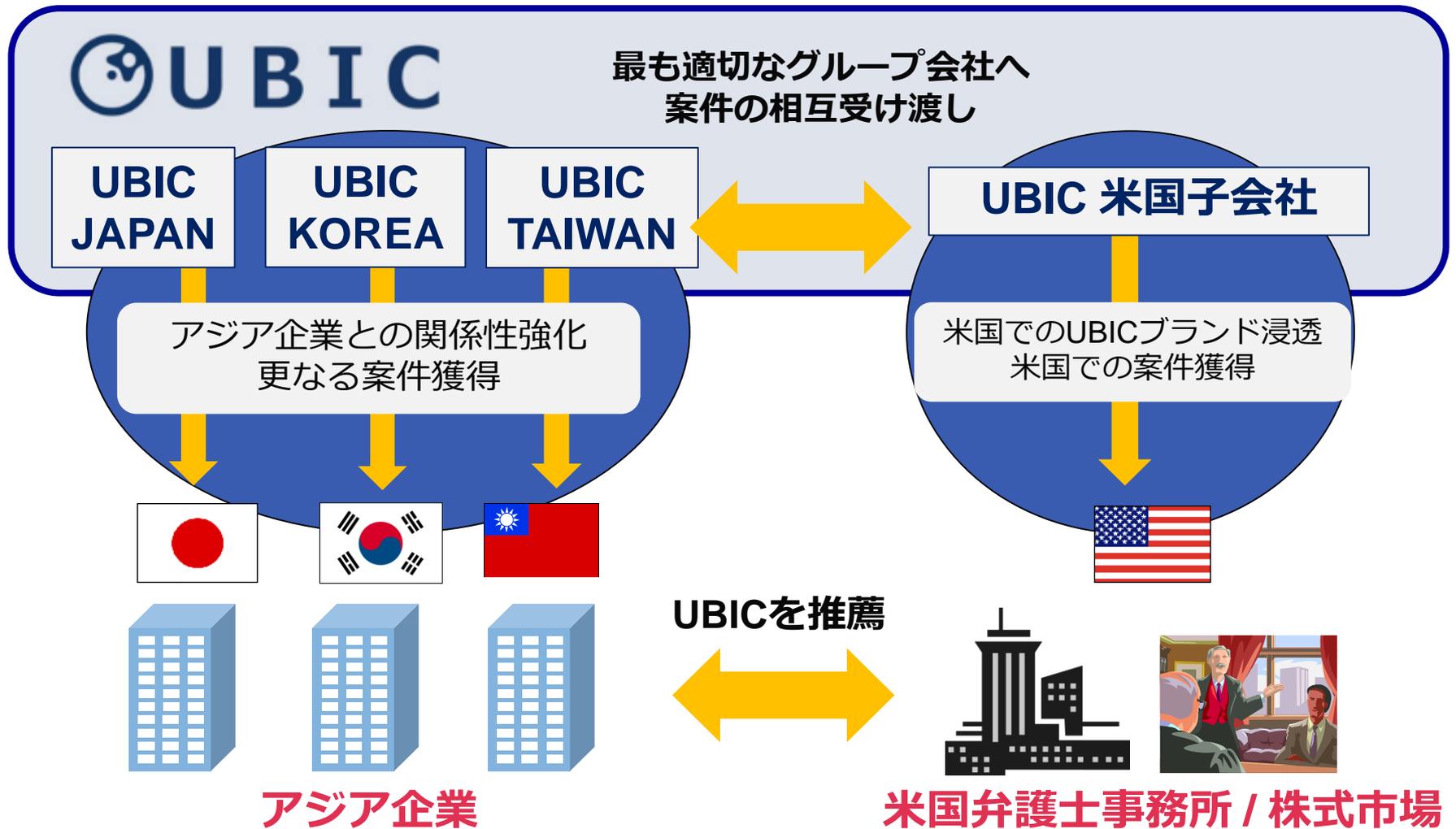
一年平均成長率16%超の世界eDiscovery市場

2014年: 約63億USドル / 2015年: 約72億USドル



Source: Transparency Market Research

# M&Aにより大型案件獲得に向けた体制確立



# 今後の事業戦略（人工知能）

---

# 各分野におけるプロジェクトの推進

## ヘルスケア



- 転倒・転落防止システム
- AMED推進
- 診断支援システムの開発 **NEW!**

- Kibiro法人販売および一般販売
- ECサイトの推進

「健康じまん.com」会員数：7000人以上  
(5月13日時点)



## デジタル マーケティング

## ビジネス インテリジェンス



- 既存製品の販売拡大

Lit i View  
**EMAIL AUDITOR**  
Lit i View  
**PATENT EXPLORER**

Lit i View  
**AI助太刀侍**

# 新製品の開発・リリース

## 転倒・転落防止システム



## 人工知能「KIBIT」搭載ロボットKibiro



### KibiroがTEPIA先端技術館、キャノンプラザS（品川）に登場

TEPIA先端技術館、キャノンプラザS(品川)での展示を始め、一般の方がKibiroとふれあうことができる場所への導入が進行中。



キャノンプラザS（品川）にて



TEPIA先端技術館にて

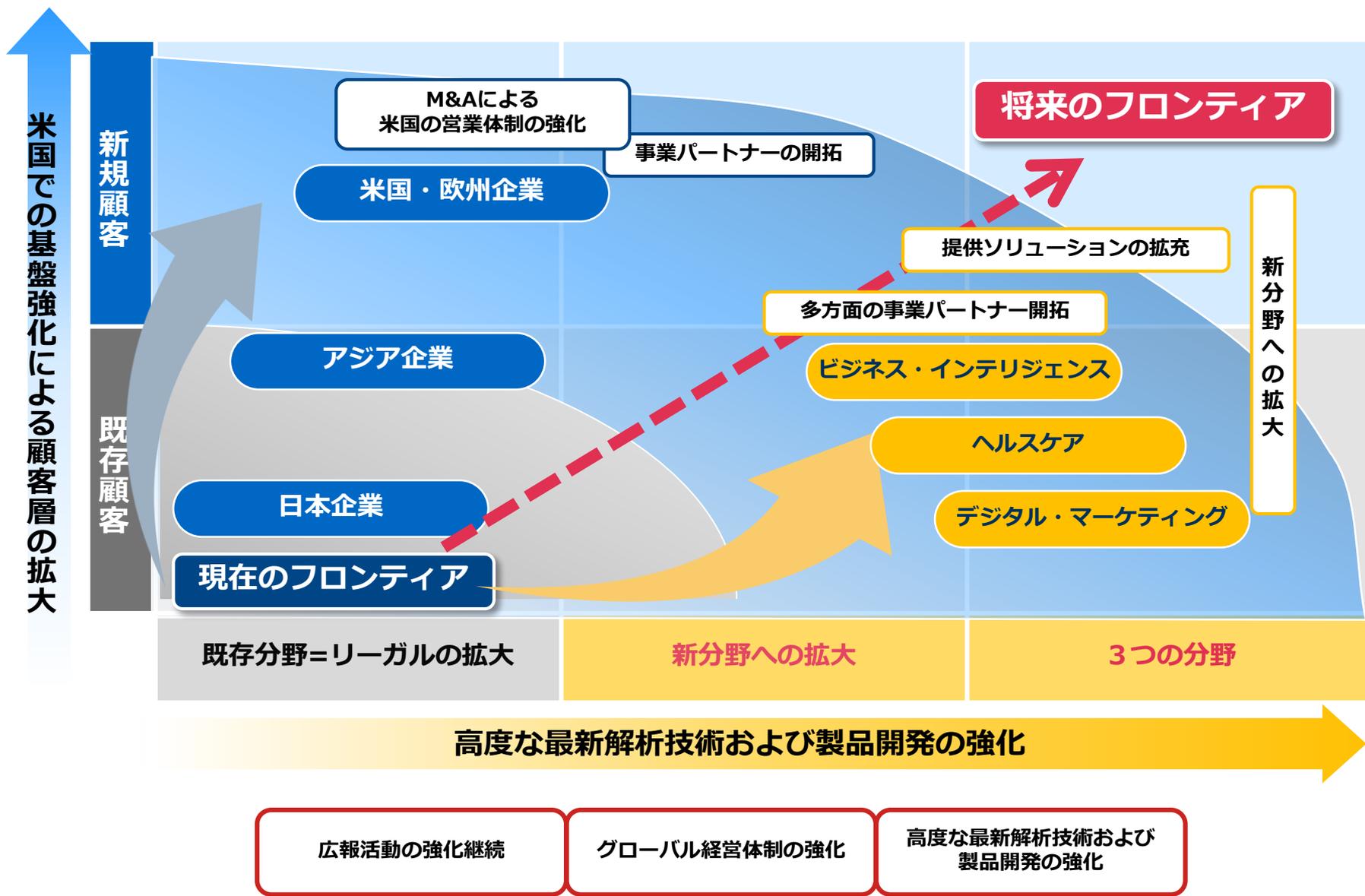
# 新規事業における進捗状況

		1Q	2Q	3Q	4Q
ヘルスケア	<b>転倒・転落防止システム</b> With NTT東日本関東病院		販売予定		
	<b>自社メディア</b>  人間ドック予約サイト	サイトオープン	KIBIT運用開始		
	<b>AMED公募事業</b> With 慶応義塾 他6社	実データ解析実施中			プロトタイプ完成予定

# 新規事業における進捗状況

		1Q	2Q	3Q	4Q
デジタル マーケティング	<b>デジタルキュレーションサービス</b> With 株式会社電通国際情報サービス	サービス開始			
	<b>Kibiro</b> With ヴィストン株式会社	法人向け 販売開始		一般向け 販売開始	
	<b>自社メディア</b> <b>健康じまん.com</b> ヘルスケアコミュニティサイト	KIBIT運用開始			

# UBICの成長戦略



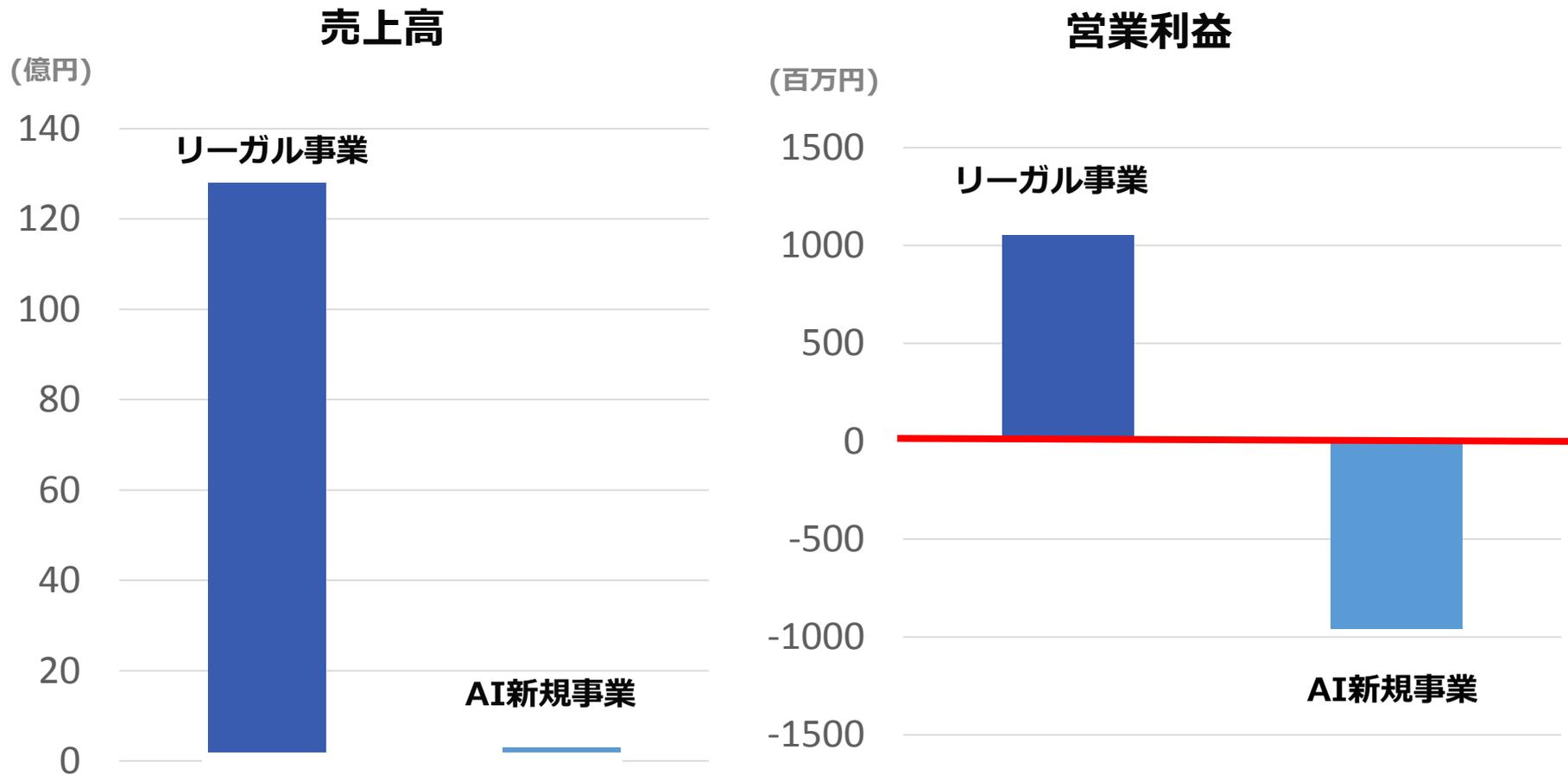
# 2017年3月期 ガイダンス

(単位:百万円)	2016年3月期	2017年3月期ガイダンス	増減
売上高	10,659	13,100	2,441
売上原価	5,830		
売上総利益	4,829		
売上比率	45%		
販売費及び一般管理費	4,648		
営業利益	180	95	-85
売上比率	2%	1%	
営業外収益・費用 (Net)	57		
経常利益	123	70	-53
売上比率	1%	1%	
特別利益(-)・損失(+)	26		
法人税等合計	211		
少数株主利益	5		
当期純利益	-121	0	121
売上比率	-1%	0%	

- リーガルビジネス売上は安定した増加を見込んでいる。そこから生み出された収益をAI事業の拡大に投資し、将来の成長や競争力強化を狙う
- 配当予測：AI事業構築への投資を優先するため、無配とする

(日本基準)

# 2017年3月期ガイダンス（リーガル事業・AI新規事業の売上比較）



**リーガルビジネス**：2017年3月期は2018年3月期以降の成長のため新体制確立。

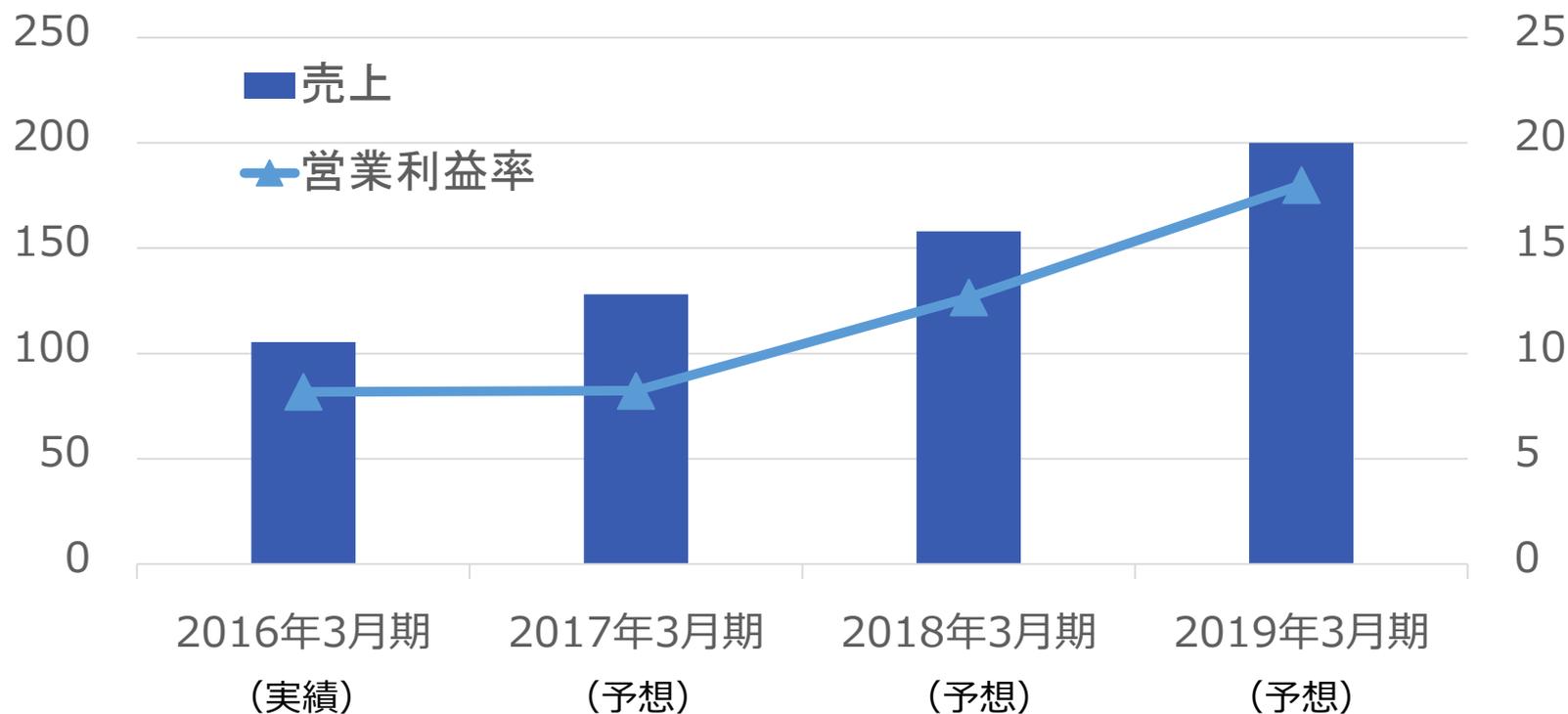
**AI新規事業**：依然投資先行モード。2017年3月期ではヘルスケア、ロボット事業の本格開始。

# リーガル事業今後の見通し

売上(億円)

営業利益率(%)

## リーガル事業今後の見通し



**2019年3月以降で売上高営業利益率20%以上を目標**



---

人工知能 (KIBIT) は、日本語の“機微” (KIBI) と情報量の最小単位“ビット” (BIT) の組み合わせで、「人間の機微を理解する人工知能」という意味の造語です。

## お問い合わせ先

株式会社UBIC

東証マザーズ上場 | Nasdaq (ナスダック) 上場

TEL : 03-5463-6344 (代表)

E-mail : [ir\\_info2014@ubic.co.jp](mailto:ir_info2014@ubic.co.jp)

責任者: 管理本部長 谷口 正巳

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。業界等における記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させて頂くものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。